

1月31日からの大雪等にかかる被害・対応状況について（第6報）

※ これは速報であり、数値等は今後変わることもあります。

1. 本省及び地方支分部局の体制について

国土交通本省	12月9日	「異例の降雪に対する国土交通省対策本部」					
北海道開発局	1月31日	15:00	警戒体制	北海道運輸局	1月31日	7:30	注意体制
	2月1日	3:00	非常体制		<u>2月5日</u>	<u>9:00</u>	体制解除
	2月2日	9:30	警戒体制				
	2月4日	7:00	注意体制				
			15:00	体制解除			
	<u>(2月4日15:00 注意体制(羅臼町への支援のため))</u>						
東北地方整備局	2月1日	0:10	警戒体制	北陸信越運輸局	1月31日	11:20	注意体制
	2月3日	14:00	注意体制		<u>2月5日</u>	<u>9:00</u>	体制解除
	<u>2月4日</u>	<u>16:00</u>	体制解除				
関東地方整備局	1月31日	11:18	注意体制				
	2月1日	9:18	体制解除				
	<u>2月5日</u>	<u>8:00</u>	注意体制				
中部地方整備局	<u>2月4日</u>	<u>23:00</u>	注意体制				
近畿地方整備局	1月31日	18:00	注意体制				
	2月1日	9:15	体制解除				
国土地理院	12月12日	13:30	注意体制				
	2月1日	3:00	警戒体制				
	2月2日	9:30	注意体制				

2. 気象状況

(1) 気象概況および今後の天気の見通し、注意・警戒事項(2月5日9時現在)

- 1月30日(金)から31日(土)にかけて、低気圧が発達しながら千島近海に進んだ。その後、低気圧は、千島近海でほとんど停滞し、北日本を中心に強い冬型の気圧配置が続いた。
- この影響で、西日本の太平洋側と東日本・北日本の広い範囲で雪が降り、特に、北陸地方と北日本では31日(土)から2月2日(月)にかけて大雪となり、なだれの発生した所もあった。また、北海道太平洋側東部とオホーツク海側南部では、3日(火)にかけて雪を伴った非常に強い風が吹き、見通しのきかない猛ふぶきや吹きだまりが発生した。
- 低気圧が発達しながら日本の南を北東へ進み、明日6日朝には日本の東へ達する見込み。
- 西日本から東北部にかけての太平洋側を中心に広い範囲で雪が降り、山地を中心に大雪となる見込み。平地でも積雪となる所がある見込み。
- 雪や路面の凍結による交通障害、架線や電線、樹木への着雪に注意。積雪の多い地域はなだれにも注意。日本海側を中心に落雷や突風にも注意。

(2) 積雪の観測値(2月5日8時現在)

○ 道府県ごとの積雪深最大地点を抽出し、降順に並べ替えた上位10位

◇ 小穂口(水機構)(おぼぐち)(群馬県みなかみ町)	469cm	(02月05日04時)
◆ 銀山平(ぎんざんだいら)(新潟県魚沼市)	445cm	
◎ 谷峠(たにとうげ)(石川県白山市)	388cm	
◇ 横岳(よこだけ)(岩手県奥州市)	367cm	
酸ヶ湯(すかゆ)(青森県青森市)	310cm	平年比105%
◇ 猿倉(さるくら)(長野県白馬村)	300cm	
肘折(ひじおり)(山形県大蔵村)	285cm	平年比114%
只見(ただみ)(福島県只見町)	218cm	平年比131%
◇ 樺平(けやきだいら)(富山県黒部市)	218cm	
◇ 中河内(なかかわち)(滋賀県長浜市)	181cm	

※ データを即時的に収集し、その品質の確認が可能な以下の積雪計データの中から抽出。
 気象庁アメダス(無印、323か所)、
 国土交通省データ(◇印、130か所)、防災科学技術研究所データ(◆印、21か所)、
 自治体データ(◎印、162か所)
 ※ 平年比(気象庁アメダスのみ):平年値(1981年から2010年までの30年間のデータを平均した値)との比

(3) 風の観測値

○ 最大風速(1月31日から2月4日24時)

北海道	弟子屈	23.0m/s	(北西)	2日 6時11分
山形県	飛鳥	21.7m/s	(西北西)	31日22時00分
北海道	えりも岬	21.3m/s	(北北東)	31日11時25分
新潟県	相川	20.2m/s	(北西)	31日 9時21分
北海道	根室	19.8m/s	(北西)	1日11時13分

○ 最大瞬間風速(1月31日から2月4日24時)

北海道	羅臼	33.3m/s	(北西)	1日16時15分
北海道	弟子屈	31.2m/s	(北西)	2日 6時47分
北海道	根室	30.1m/s	(北北西)	1日 1時13分
北海道	えりも岬	28.3m/s	(北北東)	31日10時45分
秋田県	八森	28.3m/s	(西北西)	31日23時47分

3. 国土交通省の対応

- 今後の異例の降雪にあらかじめ備えるため、平成26年12月9日に「異例の降雪に対する国土交通省対策本部」を常設。
- 羅臼町が除雪支援を要請した自衛隊の移動ルート(釧路駐屯地から羅臼町まで)の国道通行止め区間において、北海道開発局除雪車により先導支援。(2/2)
- 国土交通省として、北海道開発局より1道9市町にリエゾンを派遣するなど引き続き被害情報の収集・把握に努める。
- リエゾン(情報連絡員)の派遣
 ・北海道開発局より、1道9市町(最大)へ、のべ68人・日派遣(1/31~2/4)。

(単位:人)

月日	1					2				合計
	31	1	2	3	4	1	2	3	4	
北海道	2	5	4	2	2					15
羅臼町	2	2	2	3	3					12
斜里町		2	2							4
根室市	3	2								5
中標津町	2	2	2	2						8
標津町	2	2	2	2	2					10
別海町	1	1	1	1						4
弟子屈町		2								2
北見市		2	2							4
大空町		2	2							4
合計	12	22	17	10	7					68

○ 災害対策用機械等出動状況 (2月5日9:00現在)

整備局名	出動先	出動理由	機械名	台数	状況	期間
東北地整	宮城県仙台市青葉区作並(国道48号)	夜間監視(雪崩)	照明車	2	稼働後待機中	2月1日~
東北地整	宮城県仙台市青葉区作並(国道48号)	雪崩処理	雪庇処理車	1	稼働後撤収済	2月1日~2月3日

4. 気象庁の対応

- 気象庁として、引き続き気象状況の把握と情報発信に努める。

5. 海上保安庁の対応

- 気象警報等に留意の上、情報収集及び地方自治体等との連絡を密にしつつ即応体制を維持。
- 航行の障害となる海上漂流物の存在、航路標識の一時的な消灯及び倒壊等を認めた場合は、必要に応じて航行警報を発出し、航行船舶に対して情報提供を実施。
- 港の条件等及び低気圧の発達に応じて、港外避難等の準備作業や実施などの勧告を順次発出しており、港外避難し錨泊している船舶等に対し、走錨監視や情報提供を実施。

6. 所管施設等の状況

○道路(2月5日7:00現在)

【高速道路】

被災による通行止め：なし
※雪による通行止め：なし

【直轄国道】

被災による通行止め：なし
※雪による通行止め：なし

【補助国道】

被災による通行止め：なし
※雪による通行止め：なし

【都道府県・政令市道】(2区間)

2月4日 7:30	→	2月5日 7:00
(計2区間)		(計2区間)
・茨城県 1区間(積雪)	→	・茨城県 1区間(積雪)
・栃木県 1区間(積雪)	→	・栃木県 1区間(積雪)

※この外に北海道で事前通行規制が11区間(吹雪)の情報あり。
※この外に北海道の町道で1区間(雪崩)通行止めの報告あり。

【孤立情報】(1箇所)

<北海道>

- ①日時：平成27年2月2日夜～3日かけて発生(想定)
- ②場所：(町)市街9号線 羅臼町栄町(らうすちょうさかえまち)
- ③人身・物損：なし
- ④孤立集落：公営住宅33戸、一般住宅4戸 約60名
- ⑤迂回路：なし(既設の屋根付き階段があり人の往来可能)
- ⑥交通量：確認中
- ⑦原因：雪崩
- ⑧ライフライン：確保
- ⑨その他：3日除雪作業に着手。復旧時期は未定。北海道開発局がダンプトラック3台の手配を支援。

○鉄道関係(2月5日 9:00現在)

運転休止路線なし

事業者名	線名	運転休止区間	運転休止		運転再開		主な被害状況等
JR北海道	釧網線	網走駅～摩周駅間	1/31	10:02	2/4	15:20	暴風雪
		摩周駅～釧路駅間			2/4	9:04	暴風雪

○航空関係(2月5日9:00現在)

- ・空港施設等被害情報なし。
- ・欠航便46便(ANA46便)

○河川、管理ダム、土砂災害、雪崩関係、海岸関係、自動車関係、海事関係、港湾関係、物流関係、下水道、公園、宅地、公営住宅関連、官庁施設、観光関係について、現時点で被害情報なし。(2月5日9:00現在)

問合先：水管理・国土保全局防災課災害対策室 佐々木
代表：03-5253-8111 内線35-822
直通：03-5253-8461